

令和3年 交通事故発生状況

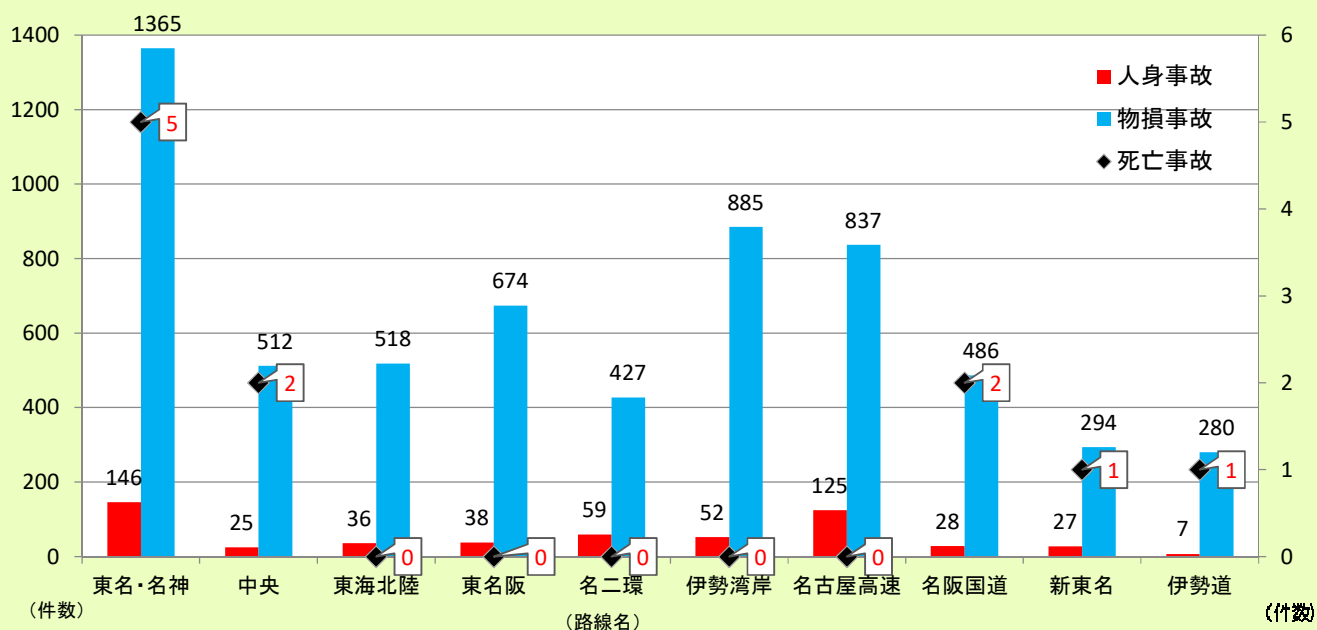
(東海三県高速道路及び指定自動車専用道路)

	人身事故			物件事故
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数
岐阜県	35	6	69	1,188
愛知県	485	6	773	4,265
三重県	67	3	97	1,764
合計	587	15	939	7,217

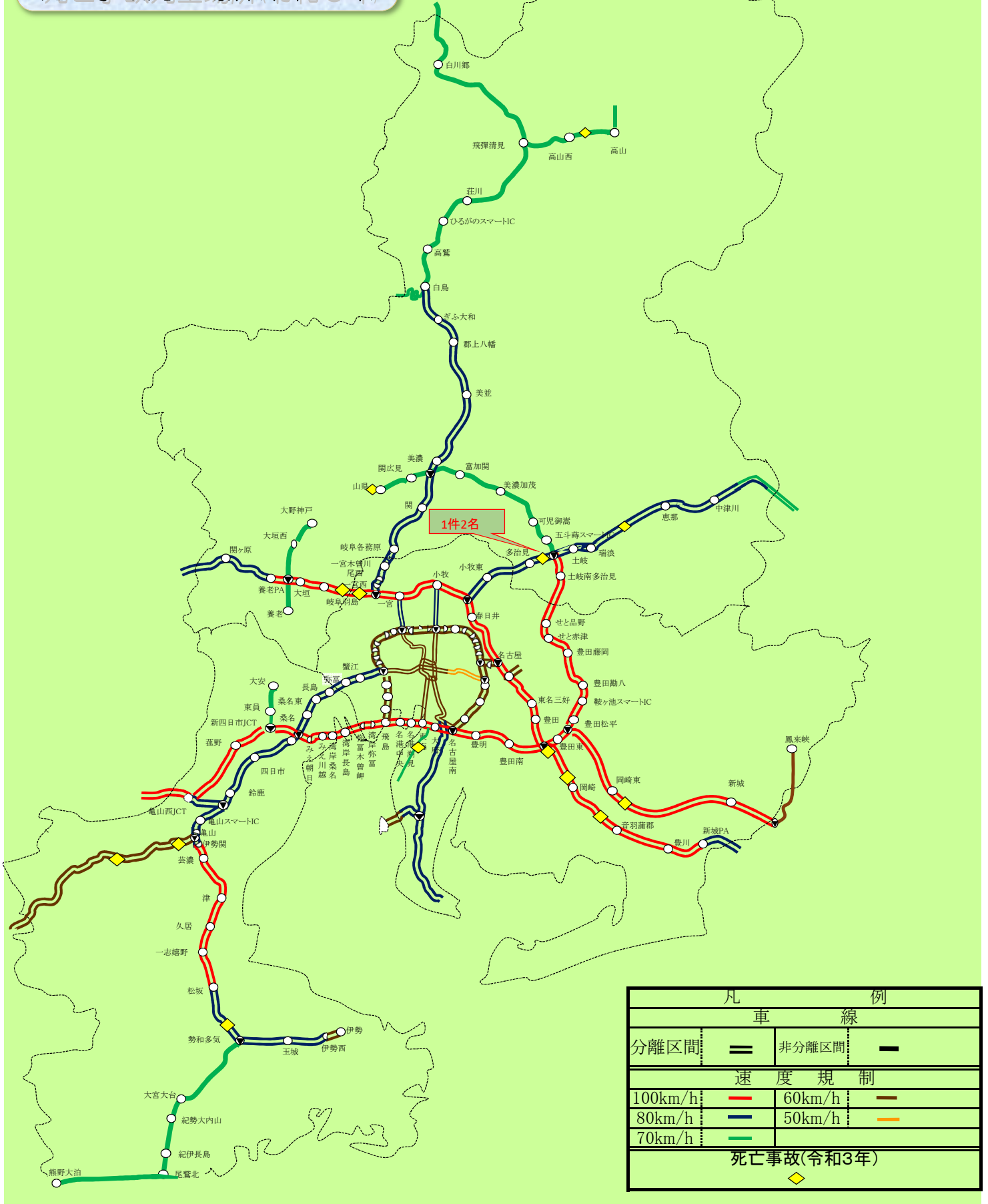
※ 死者数以外は概数

令和3年中、東海三県（岐阜・愛知・三重）の高速道路等では交通事故が7,802件（うち死亡事故は14件）発生しました。

主要路線の事故状況



死亡事故発生場所(令和3年)

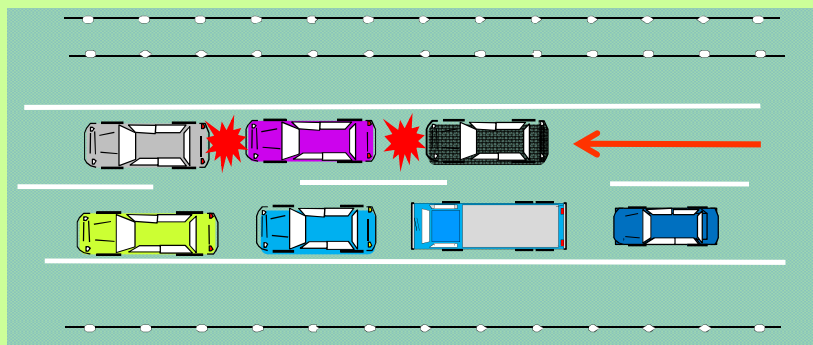


凡 例	
車 線	
分離区間	≡ 非分離区間
速 度 規 制	
100km/h	60km/h
80km/h	50km/h
70km/h	
死亡事故(令和3年)	
◇	

高速道路の交通事故の特徴

① 事故の大半が追突事故

渋滞後尾や渋滞の中で多発しています。

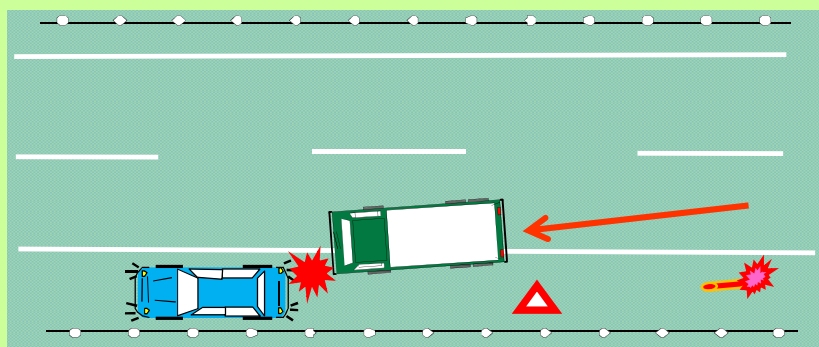


渋滞最後尾が最も危険です！

- 控えめな速度で十分な車間距離をとる
- 常に周囲の状況を見て、予測・防衛運転をする
- 渋滞を発見したら事前に速度を落とす

② 停止車両への衝突事故

交通事故や車両故障等で、本線や路肩に停止している車に脇見の後続車が衝突する事故が多発しています。



路肩でも安心はできません！

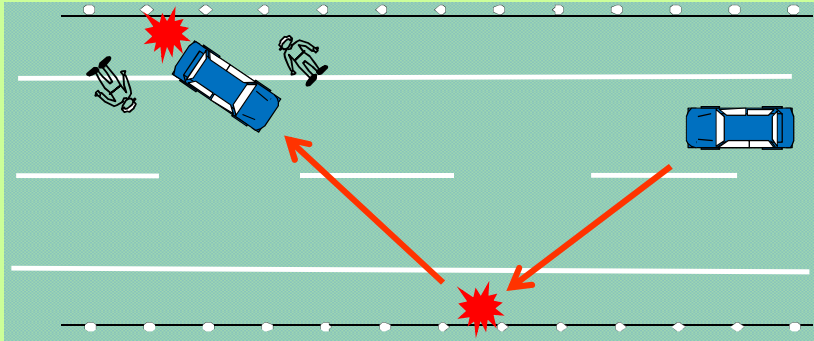
※ 三角表示板や発炎筒を必ず活用して下さい！

- 停止表示板や発炎筒の使用とハザードランプの点灯
- 警察(110)や緊急ダイヤル(#9910)への速やかな通報
- 高速道路上でパンク修理等を行わない



③ 車外放出事故

シートベルトを着用していないため、交通事故発生時の衝撃で乗員が車外に飛び出してしまう、亡くなる事故が発生しています。



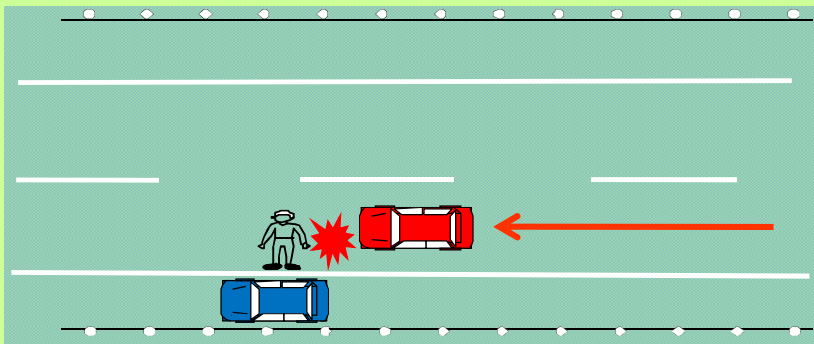
全席シートベルト
常に着用！

- 全席シートベルト着用(特に後部座席)の徹底
- 運転手は全乗者のシートベルト着用を確認する
- 6歳未満の子供には必ずチャイルドシートを!



④ 歩行者への衝突事故

交通事故や車両故障等で本線や路肩に車を停止させた後、運転手等が本線付近に立っていて、後続車にはねられて亡くなる事故が多発しています。



高速道路でも
人がいないとは
限りません！

- やむを得ず停車した場合はガードレールの外等安全な場所へ直ちに避難し、車内に残らない
- 高速道路走行中は進路前方をよく見る。また案内表示板を確認して、事故車や故障車等に注意する